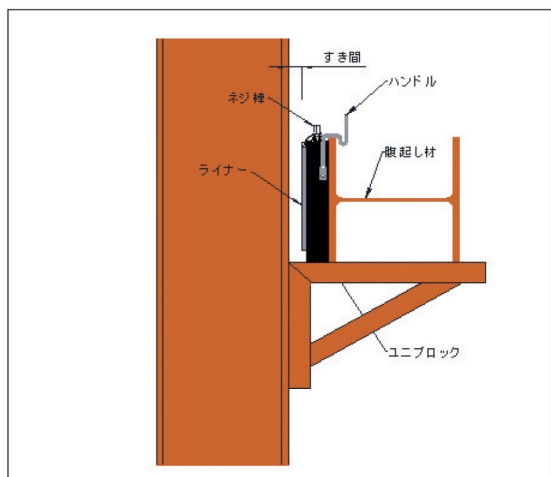


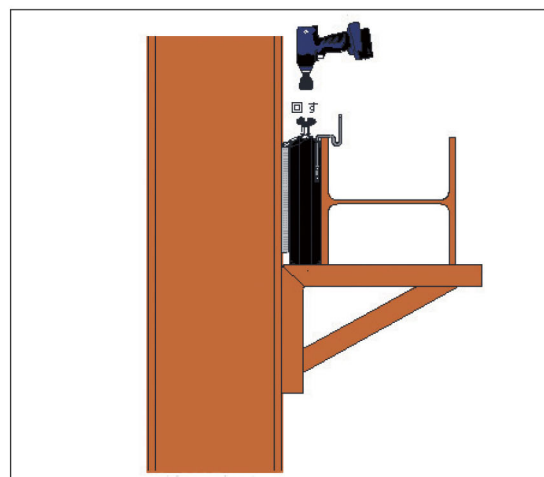
# ユニ・ブロック取扱方法

## 1. ユニ・ブロック挿入



ユニ・ブロックを腹起し材と山留材の間に挿入し、ハンドルをフランジに掛ける。この時すき間30mm以上ある場合はライナーを挿入し、間詰めをする。ライナー付属のゴムは、ユニ・ブロックのネジ棒に掛ける。

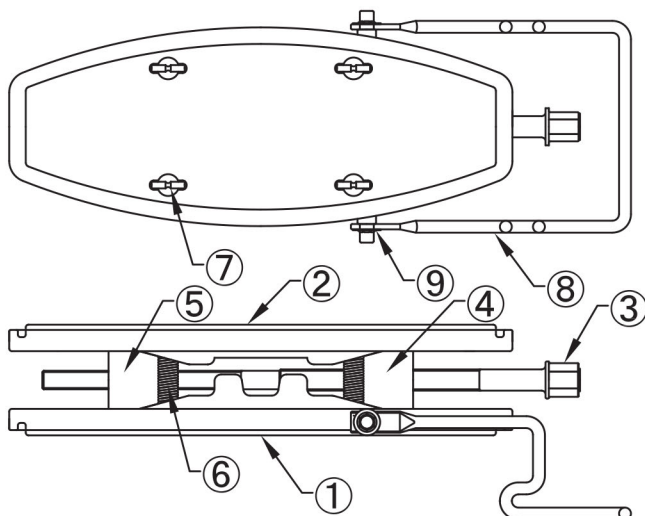
## 2. ユニ・ブロックセット完了



ユニ・ブロックのネジ棒をインパクトレンチ(平径22mm)等で右へ回し、山留材とのすき間をうめる。



1. 腹起し材と山留材とのすき間が極端に広い場合、ユニ・ブロックを2個重ねて使用しますと落下の原因となり大変危険です。  
この場合、山留材又は腹起し材に間詰めプレート等を取付ける等して対処下さい。
2. 投げたり落としたりしないで下さい。故障の原因になります。
3. 付近で溶接・ガス等の火気を使用しないで下さい。ゴムカバーが燃える危険があります。
4. 水中での使用は不可です。ゴムカバーの中にヘドロが溜まりネジ棒が回らなくなります。



⑨	プッシュナット
⑧	ハンドル
⑦	バネ受けピン
⑥	引張バネ
⑤	テーパブロック B
④	テーパブロック A
③	ネジ棒
②	プレート R
①	プレート F
部番	部品名

※ゴムカバーは非表示